769-P□ル

300106

769-P□胞株は、1975年に63歳の女性腎□胞腺癌患者の腎摘出標本から得られたヒト腎 □胞癌（RCC）□胞株である。この□胞株は腎□胞癌の研究に広く用いられており、特に明□胞腎□胞癌（ccRCC）は成人における腎癌の中で最も一般的で致死的な形態である。

769-P□胞株は原発性RCCの多くの特徴を保持しており、腎□胞癌に関連するいくつかの突然変異を保有している。この □胞株はvon Hippel-Lindau（VHL）癌抑制遺伝子の機能喪失を示し、この遺伝子はccRCCにおける重要な腎癌遺伝子であり、血管新生、 □胞増殖、代謝再プログラミングを含む様々な癌化経路を活性化することができる。

769-P□胞株は、腎臓がん発症の分子メカニズムの理解、抗がん剤の有効性の探索、薬剤耐性のメカニズムの研究に用いられている。これらの □胞は、RCCおよびRCCサブタイプの治療に用いられる標的治療薬の一種であるチロシンキナーゼ阻害薬（ TKI）に対する反応を調べるのに特に有用である。

769-P腎癌□胞株はさらに、腎癌における腫瘍微小環境の役割を調べたり、アポトーシス、 □胞周期制御、転移能などの□胞プロセスを研究したりするのに用いられる。 769-P□胞株は低酸素状態に対する応答性が高いので、固形がん内で見られる低酸素環境に ccRCCがどのように適応し、増殖するかを研究するのに適している。

まとめると、769-P□胞株や他のRCC□胞株は腎癌研究において不可欠なツールであり、 ccRCCの病態、薬剤の有効性、耐性メカニズムについての洞察を与えてくれる。

概要

□明

769-P□胞株は、1975年に63歳の女性腎□胞腺癌患者の腎摘出標本から得られたヒト腎 □胞癌（RCC）□胞株である。この□胞株は腎□胞癌の研究に広く用いられており、特に明□胞腎□胞癌（ccRCC）は成人における腎癌の中で最も一般的で致死的な形態である。

769-P□胞株は原発性RCCの多くの特徴を保持しており、腎□胞癌に関連するいくつかの突然変異を保有している。この □胞株はvon Hippel-Lindau（VHL）癌抑制遺伝子の機能喪失を示し、この遺伝子はccRCCにおける重要な腎癌遺伝子であり、血管新生、 □胞増殖、代謝再プログラミングを含む様々な癌化経路を活性化することができる。

769-P□胞株は、腎臓がん発症の分子メカニズムの理解、抗がん剤の有効性の探索、薬剤耐性のメカニズムの研究に用いられている。これらの □胞は、RCCおよびRCCサブタイプの治療に用いられる標的治療薬の一種であるチロシンキナーゼ阻害薬（ TKI）に対する反応を調べるのに特に有用である。

769-P腎癌□胞株はさらに、腎癌における腫瘍微小環境の役割を調べたり、アポトーシス、 □胞周期制御、転移能などの□胞プロセスを研究したりするのに用いられる。 769-P□胞株は低酸素状態に対する応答性が高いので、固形がん内で見られる低酸素環境に ccRCCがどのように適応し、増殖するかを研究するのに適している。

まとめると、769-P□胞株や他のRCC□胞株は腎癌研究において不可欠なツールであり、 ccRCCの病態、薬剤の有効性、耐性メカニズムについての洞察を与えてくれる。

ティッシュ	腎臓
病気	腎□胞がん

同義語

- 769P
- 769-p

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	免疫抑制ハムスターおよびヌードマウスに腫瘍を形成する
倍数性	この□胞株は、4倍体、6倍体、および高倍数体□胞（2s集団）を多く有していた。最も一般的な □胞集団（□胞の32%）は、46,xx,-3,-18,del(7)(q21.12,q22.3)、? t(3q?18q)の偽二倍体核型を有していた。

核型

倍数体。モーダル数＝45。すべての□胞に大きな亜メタセンター染色体が存在する。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

倍増時間	35時間

識別子

引用

769-P（サイシオン カタログ番号 300106）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1050

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml、T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml、T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	3×10⁴□胞/cm²では、4日以内にコンフルエントな単層が形成される。
流体の更新	週2～3回
解凍後の回復	解凍後、□胞を5×10⁴□胞/cm²で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 48時間行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	63年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB